

こんな先生
いるよ!

「きっかけは 一冊の本との出会いと イタリア留学」

経営学部 経営学科 講師
かわさき ちあき
川崎 千晶 先生

企業間の信頼関係について研究

どのような研究をされていますか。

「産業クラスター」における組織間の信頼関係の形成プロセスとその維持のプロセスを研究しています。こうした研究は欧米では2000年代から盛んになりました。

日本においても、中小企業のネットワーク化による企業間連携で試作や開発機能の強化を図っている集積地域があり、こうした組織の調査分析を行っています。試作品生産を軸に中小企業間・産官学連携を図る国内のあるネットワークでは、対面での会議を重視してコミュニケーションを密にするとともに、学習する連携組織として他社とアイデアや知識を共有することで、協力・信頼関係を築いていったことが分かりました。

研究の道へ進むべきかイタリアで検証

現在の研究へ進んだきっかけは。

修士論文は今の研究とは異なるテーマでしたが、振り返れば、修士課程のゼミで最初に輪読した一冊の本が今の研究につながっています。社会学者ニクラス・ルーマンの『信頼―社会的な複雑性の縮減メカニズム』です。その時は難しくて内容はなかなか理解できなかったものの、普段使用する『信頼』という言葉が、学術的に深く研究されているということを知り衝撃を受けました。

博士課程へ進むべきか悩んでいた頃、テ

レジ番組の特集で、イタリアの中小企業が競争しながらも協調して成長する「産業集積」について紹介されているのを見て興味を持ちました。当時は大学卒業時の旅行をきっかけにイタリア語の語学学校へ通っており、修士課程在学中に3カ月フイレンツェに語学留学し、修士課程修了後にも半年ほどヴェローナに行くつもりでした。

「石橋を叩きすぎて壊してしまう」ほど慎重な性格の私は、「現地の大学でこの研究を進められそうか確認できたら、博士課程に進もう」と考え、ヴェローナから戻った後にさらに1年、ミラノのボッコーニ大学で学ぶことにしました。

そしてその後、「文献も集まりそうだし、自分のモチベーションも維持して研究が続けられそうだ」という結論を出してから日本に帰国し、今に至ります。

インドア派だけど旅行も好き

休日はどうに過ごしていますか。

普段は読書や映画、グルメを楽しむインドア派ですが、昔から旅行は大好きでした。イタリアには何度も行きましたが、他で特に印象に残っている国はアイスランドです。大陸プレートがぶつかり合って地表に露出した「地球の割れ目」などスケールの大きな自然を目の当たりにし、ヨーロッパの洒落た街並みとは違う魅力を感じました。

最近の休日は、子どもと博物館に出かけたり、家や公園で家族とゆったり過ごしたりするのが好きです。

藤沢享乃（ジェイクリエイト）

【写真左】2025年秋のゼミ合宿（箱根）

【写真中】6年ぶりとなったイタリアでの現地調査（2025年9月）

【写真右】小学生の息子がレゴでつくった昆虫たち

